

齋藤忠 さいとう ちゅう 評論家。明治二十五年十一月二十九日新潟潟縣生れ（一九〇二）。昭和二年東京帝國大學文學部英文學科卒。更に五カ年大學院課程を修めたのち、一貫して軍學・外交問題の評論に従事。

著書 『英米海軍陣と日本の進路』（昭和十六年十月一日春陽堂書店）、

『海戰（1914-18）』（昭和十七年七月十五日海洋文化社）、 『大東

亞共同宣言』（合著・大日本言論報國會編、昭和十九年四月十五日同

盟通信社出版部）、 『原子力以後の國防』（昭和二十九年二月一日元

々社「民族教養新書」）、 『北歐神話』（昭和二十年六月十五日元々

社「民族教養新書」）、 『臙腫の名を語る』（昭和二十七年二月二十

五日出版協同社）等。

